

# 福山市

2019.6.21 FRI  
→ 6.23 SUN

- # 駅前再生
- # 公園と図書館
- # 大型商業施設
- # シティプロモーション



# 受講生募集!



# 大東市

2019.8.16 FRI  
→ 8.18 SUN

- # 公営住宅
- # 福祉
- # 広場
- # 駅前商業施設

OPEN CALL.

# 官民連携

# まちづくり塾



# 北九州市

2019.7.5 FRI  
→ 7.7 SUN

- # 家守
- # 商店街
- # 道路の広場化
- # リノベと再開発



# 熱海市

2019.8.23 FRI  
→ 8.25 SUN

- # 新しいツーリズム
- # 2拠点居住
- # 高齢者福祉
- # まちなかでの暮らし方



Public ↔ Private  
Partnership  
MACHIDUKURI  
SCHOOL



# 2019

2011年から全国50以上の都市地域でリノベーションまちづくりを展開している株式会社リノベリングが今年も「官民連携まちづくり塾」を開催します。

「なぜ官民連携が必要なのか?」「上司や議会を説得する方法は?」「どうすれば公共空間を楽しい場所にできるんだろう?」そんな疑問やお悩みを抱えている方を対象に、官民連携によるまちづくり先進地のリアルを体験する3日間のプログラムをご用意しました。

現地でしか聞くことのできない「裏話」を行政や民間の実践者それぞれの立場からお話いただくことで、先進地のリアルを体験し考え方やスタンスを学び、実践に結びつけてください。



## ■ 募集要項

■ 参加費：無料

■ 募集人数・対象：50名～60名/各スクール

■ 公務員（地方自治体職員・都道府県職員・中央官庁職員等）

■ 民間プレイヤー（家守会社・家守候補・都市再生推進法人候補等）

3人～4人一組で参加のこと

※原則、公務員・民間プレイヤーは別々にチームを組むこと。

混合チームでの参加をご希望の場合はご相談ください。

■ 受講お申込み

rerererenovation! のWEBサイトへアクセスし

お申し込みください。↓

<https://re-re-re-renaovation.jp/schools/>



※主催者側で厳正な審査を行います。受講生の決定は、個別に電子メールにてお知らせいたします。審査結果と併せて事前課題を発表いたします。

## ■ プログラム内容

- レクチャー
- まちあるき（事例視察）
- グループワーク
- 講評会
- 懇親会



2019. 6. 21 FRI → 23 SUN

福山市 5/7 合格発表・事前課題発表 → 6/7 事前課題提出締切 → 6/14 事前課題返却

かつて日本屈指の繊維問屋街として栄えた伏見町での再開発が頓挫し、時間の止まってしまったエリアを変えるところから福山市のリノベーションまちづくりがはじまりました。リノベーションスクールを年に2回開催し、民間プレイヤーを巻き込んで事業を生み出しながら、驚異のスピード感でエリアの価値を上昇させています。備後圏域の玄関口である福山駅から周辺エリアへ波及させ、地域全体の発展へと広がっていきます。



塾長：西村 浩  
(株式会社ワークヴィジョンズ)

2019. 7. 5 FRI → 7 SUN

北九州市 5/21 合格発表・事前課題発表 → 6/21 事前課題提出締切 → 6/28 事前課題返却

北九州市では「小倉家守構想」の策定をきっかけにリノベーションまちづくりがはじまりました。2011年に全国初となるリノベーションスクールを開催し、アンカープロジェクトとなるメルカートの誕生から22のプロジェクトが生まれました。魚町から中島、若松、黒崎へと派生していき、空き家だらけのエリアで新築の再開発が起こるまで価値が上昇しています。リノベーションまちづくりの聖地として全国のリノベーションまちづくりへ影響を与えています。



塾長：青木 純  
(株式会社まめくらし)

2019. 8. 16 FRI → 18 SUN

大東市 7/2 合格発表・事前課題発表 → 8/2 事前課題提出締切 → 8/9 事前課題返却

公共施設の管理問題が大きな課題の1つである大東市。そんな中、元市職員が代表を務めるまちづくり会社で市営住宅の建て替えという、公共事業を民間事業化した「官民連携事業」が進行しています。また、住民が主体的に継続している「元気でまっせ体操」はコミュニティ形成と合わせて介護費の削減につながるなど都市経営課題の糸口になってきました。官民連携基本条例を定め公共組織の一覧を公開し、それに対する民間の提案募集を募りつつ2018年度から小さなリノベーションまちづくりの取り組みもスタートさせるなど、大東市独自の取り組みに注目です。



塾長：岡崎 正信  
(株式会社オガール)

2019. 8. 23 FRI → 25 SUN

熱海市 7/9 合格発表・事前課題発表 → 8/9 事前課題提出締切 → 8/16 事前課題返却

バブル崩壊後は人口・観光客数ともに激減の一途を辿っている熱海市では、「まちに活力があるうちに都市型産業を生み出すこと」が急務となりました。その危機感をいち早く民間のプレイヤーが察知し、熱海市でリノベーションまちづくりが始まりました。リノベーションスクールなどを開催することで熱海銀座を中心にリノベーション案件が次々に誕生。このような民間の動きに並走し、熱海市はATAMI2030会議で都市政策の検討を行ったり、創業支援プログラムを構築したりするなど熱海市ならではの官民連携手法を確立しました。



塾長：大島 芳彦  
(株式会社ブルスタジオ)